

火災が起きたときの避難

避難するとき

おさない

かけない

しやべらない

もどらない



アライグマのポーズ

避難する時は、
体を低くして、
ハンカチを
口と鼻にあてる。

身に付けるもの



- 1 テーマ 火災
- 2 ねらい 出火の際の基本行動及び避難の姿勢を理解し、行動させる。
- 3 指導内容
 - ・おかしもの確認をする。
 - ・避難の姿勢を確認する。

| 分 | ○児童の学習活動 | ◇教師の働きかけ ・児童の反応 | ◎留意点 ■評価 |
|---|---|--|--|
| 1 | ○火災の時の避難方法を想起する。 | ◇「火災が起こった時には、どのような行動をしますか。今までの訓練を思い出してみましよう。」 ・出火場所を確認する。 ・ハンカチで口と鼻を覆う。 ・放送をしっかりと聞く。 | ◎これまでの火災発生時の避難訓練を想起させる。 |
| 3 | ○課題について知り、避難行動について考える。 ○その場で避難姿勢をとる。 | ◇「今日は、火事が起こった時の行動について確認します。火事が起こった時には、次のような行動をとることが大切です。」 ◇「避難するときには、おかしも（おさない、かけない、しゃべらない、もどらない）をしっかりと守ります。」 ◇「煙の中から逃げる時には、体を低くしてハンカチを口と鼻にあてます。」 ◇「ハンカチを出してみましよう。」 ◇「避難する姿勢をとります。その場で防災頭巾（ヘルメット）を被り、ハンカチを口と鼻にあて、低い姿勢になります。」 | ◎パネルを使って説明する。 ◎避難する姿勢のみ、その場で練習する。 |
| 1 | ○学習をまとめる。 | ◇「避難の時には、合言葉『おかしも』を守り、防災頭巾（ヘルメット）を被り、体を低くしてハンカチを口と鼻にあてて避難します。いざという時に素早く行動できるようにしましよう。」 | ■出火の際の基本行動及び避難の姿勢を理解し、避難姿勢をとっている。 |